

- |   |    |
|---|----|
| 1. PERSON B.C. 4・3世紀、儒家の思想家で仁を強調。   | 1  |
| 2. 孟子の主張で、人間の本性は生まれつき善とする。  | 2  |
| 3. 儒家思想の別名。孔子と孟子の教えを合わせた呼称。   | 3  |
| 4. 孟子の性善説の根拠。全ての人が生まれながらもつ四つの心（徳）。語義：端は「ものごとのはじめ・糸口」  | 4  |
| 5. 孟子が四端（説）で説いた四つの徳。  | 5  |
| 6. いたみあわれむ心。同情心。「忍びざるの心」とも。「仁の端なり」。   | 6  |
| 7. 悪を恥じ、憎む心。「義の端なり」。  | 7  |
| 8. へりくだる心。「礼の端なり」   | 8  |
| 9. 善と悪や正と不正を見分ける心。「智の端なり」   | 9  |
| 10. 孟子の説く「四徳」。関連語：ギリシア四元徳、キリスト教三元徳  | 10 |
| 11. 孟子の説く人間関係の中での五つの仁のあらわれ方。  | 11 |
| 12. 孟子の説く「五倫」。順番に、親子間・君臣間・夫婦間・長幼間・朋友間の仁のあらわれ方。  | 12 |
| 13. 孟子の説く理想の人間像。道徳的に生きることに意欲的で、聖人・君子を目指して努力する人。   | 13 |
| 14. 孟子の説く大丈夫が常に養おうとする、自分に四徳（仁・義・礼・智）が備わっていることを確信し、それらを実践しようとする広やかな気分。                       | 14 |
| 15. 孟子の説く王者による政治。仁と義の徳に基づく政治。仁政。  | 15 |
| 16. 孟子の否定する覇者による政治。利や力（富国強兵）のパワー・ポリテイクス（権力政治）。  | 16 |
| 17. 王朝の交替は天命による。戦国時代の儒家、孟子の言葉。書き下し：「姓（王朝）の易（か）はるは、命（天命）の革（あらた）まるなり」                         | 17 |
| 18. PERSON B.C. 3世紀、儒家の思想家で礼を強調。  | 18 |
| 19. 荀子の主張で、人間の本性は生まれつき悪とする。関連人物：17C、英の政治学者ホッブズ（の社会契約説）                                      | 19 |
| 20. 荀子の主張で、人間は先天的な悪い本性を、後天的・作為的努力としての礼によって正すべきであり、社会もそれによって治まるという考え方。これは孔子の徳治主義を批判的に継承したもの。 | 20 |

T. Q. 「孟子と荀子の共通点と相違点とは？」

T. A.

孟子は性善説、荀子は性悪説。この二つが両者の大きな相違である。しかし両者の考えは、前者が礼によって導かれ、後者が礼によって矯正されるというものなので、「礼を重んじる」という点では似ている。礼を道徳的なものとみなしたのが孟子の徳治主義で、刑法的なものとみなしたのが荀子であるといえる。